

CITY OF YOKOHAMA

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和8年3月12日
脱炭素・GREEN×EXPO推進局
みどり環境局

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた 取組状況について

項目

- 1 横浜市出展等の検討状況について
- 2 市民等の参加の検討・取組状況について
- 3 来場者輸送の取組状況について
- 4 GREEN×EXPO協会による取組状況について

項目

- 1 横浜市出展等の検討状況について
- 2 市民等の参加の検討・取組状況について
- 3 来場者輸送の取組状況について
- 4 GREEN×EXPO協会による取組状況について

1 (1) 出展位置

Urban GX Village、 SATOYAMA Villageに2つの拠点を設置



世界の明日を、みんなでひらく。

Circular City YOKOHAMA

未来に向けて挑戦する市民、企業の皆さまと共に、横浜が目指す未来のまち・暮らしを発信



自然と調和する木材を利用し、印象的な外観を構成。会期後は、レガシー材として公共建築物等へ再利用します。4

1 (3) 市民・企業の皆さまと共につくる「発信拠点」

33組56社の協賛企業の皆さまやSTYLE PARTNERSをはじめとした市民の皆さまと共に、展示する未来風景やスタッフユニフォームなどの拠点づくりの取組を進めています。



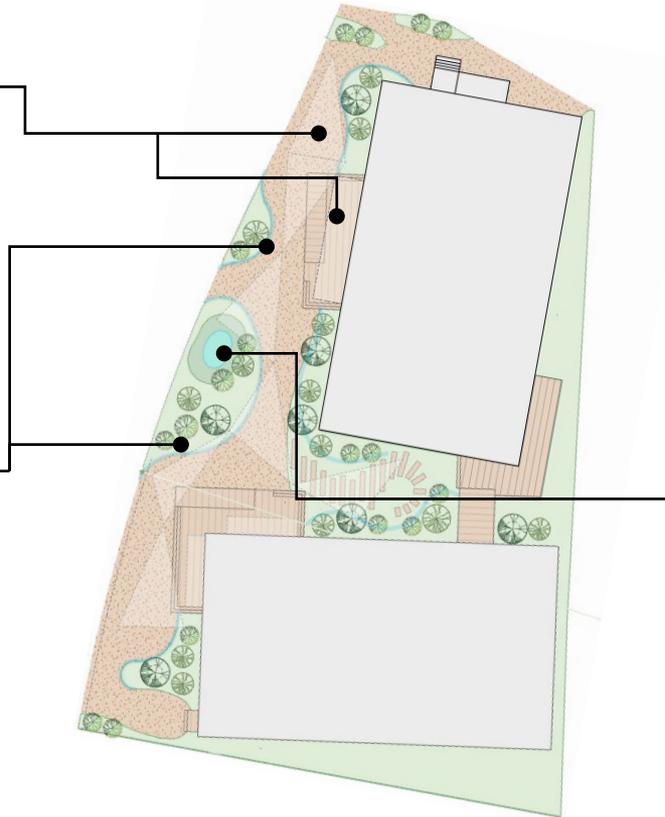
協賛企業との未来風景を描くセッションの様子



スタッフユニフォーム制作に向けた古着回収の様子

1 (4) 建物空間を活用した発信拠点の暑熱対策

屋外でも快適に過ごせる空間、夏場でも子ども達の笑顔が生まれる空間をつくります。



1 (5) 大屋根リング材の活用

大阪・関西万博の大屋根リング材の一部を再利用してベンチ等を制作し、横浜市の循環型都市への移行に向けた象徴的な取組を進めます。



会期後は学校などの公共施設へ移設するなど、レガシーとして、市民の皆様のご記憶に残る活用方法を検討します。

1 (6) フィールドを活用した活動拠点のコンセプト及び構成

コンセプト 環境活動団体が活躍する場

① ウェルカムガーデン

出展の入口を彩る、市内産植物などを活用した横浜ならではのガーデン

② みんなでつくるフィールド

環境活動団体をはじめとした市民の皆様の参加によりつくるガーデン

③ 活動広場

様々なイベントやワークショップなどを行う芝生広場

④ 観察とあそびの森

既存の樹林を生かし、木とふれあうワークショップや蝶・バッタなどの身近な生き物にふれることを通して、生物多様性と暮らしとの関係を学び・再発見するエリア

⑤ 未来志向フィールド

生物多様性や資源循環に配慮し、環境負荷低減を実践するガーデン



1 (7) ウェルカムガーデンのイメージ

市内産の花苗等を活用し、「地球とともに生きる」を具現化しつつ、**圧倒的な華やかさと美しさ**により来場者をお迎えします。



1 (8) 会期前の参加プログラム

環境活動団体の皆様を対象に、「サステナブルな花壇づくりプログラム」を実施します。
植物に関する講習から、花壇の設計、植栽作業など一連の花壇づくりに参加していただきます。

募集期間 令和8年3月19日(木)～4月30日(木)

募集人数 約100名

対象 公園愛護会を中心とする環境活動団体

活動期間 EXPO会期前
(令和8年6月～令和9年3月)

活動場所 未来志向フィールド内



⑤ 未来志向フィールド

項目

- 1 横浜市出展等の検討状況について
- 2 市民等の参加の検討・取組状況について
- 3 来場者輸送の取組状況について
- 4 GREEN×EXPO協会による取組状況について

2(1) 市催事①－横浜ウィーク

1週間程度開催を予定

横浜の魅力を生かした、ここでしか得られない体験を、市民や来場者と「ともに作り、みんなで楽しむ」、スペシャルなウィークを会場全体で展開します。



2(1) 市催事②－区民活動デー

日頃から文化活動等をされている方によるステージでの発表や、地産地消・区の特産品の展示・販売ブース等による出店など、区民の皆様が主体的に参加していただける機会を提供します。



2(2) ボランティア募集

GREEN×EXPOを共に盛り上げ、支えていただくボランティアとして、植物管理（約2,000人）と運営（約10,000人）のボランティアを、4月30日まで募集中です。また、横浜市出展のボランティア（3種類）を今年7月頃から募集予定です。

【EXPO全体】



《募集終了》

- ①花・緑ガイド(約200人)
会場内の花壇等の見どころ紹介

【現在募集中 4月30日まで】



- ②植物管理(約2,000人)
会場内の花壇等の手入れなど管理のサポート



- ③運営(約10,000人)
会場内外での来場者案内・運営サポート



【横浜市出展】

【7月頃募集開始予定】



- ④ツアーガイド(約100人)
フィールドを活用した活動拠点をめぐり、見どころを紹介



- ⑤フィールドづくり(約200人)
フィールドを活用した活動拠点における花・緑の育成・管理等



- ⑥プログラム運営補助(約600人)
様々なワークショップの運営補助等

2(3) 未来を担う子どもたちに向けた取組

子どもたちが地球規模の課題を自分事として捉え、新たなグリーン社会への意識を高めるきっかけとするため、GREEN×EXPOへの2つの招待事業を実施します。



ア 学校招待（教育プログラム）

環境問題やEXPOへの興味・関心を高めるため、「事前の学び」を経たうえで、校外学習等の一環などで来場します。

- ・ 対象：市立小・中学校、高校等の児童・生徒（約500校）
※ 私立、県立、国立は、県で同様の事業を検討中
- ・ 時期：4月～6月の平日53日間（調整中）

- ✓ 出展企業と連携した環境学習やワークショップ
- ✓ EXPOにつながる体験型の環境学習プログラムや、学校カリキュラムとの連動
- ✓ EXPOの最新情報や探求を深める環境教材

➡ 専用WEBに掲載し、全校で共有



イ こども招待

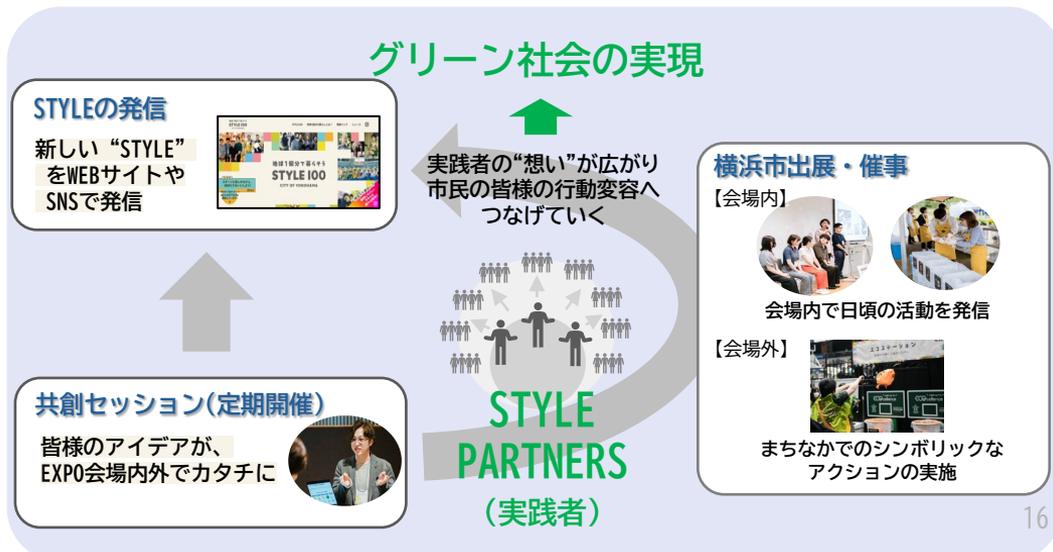
- ・ 対象：市内在住の満4歳～満18歳の方 ※ 3歳以下は無料
- ・ 時期：会期中、いつでも1回入場可
- ・ 申込開始：令和8年9月頃を予定

2(4) STYLE PARTNERS 募集開始

地球にやさしいライフスタイルを実践する皆様の取組を“STYLE”として発信し、全市的なアクションに広げていくため、『STYLE PARTNERS』を立ち上げました。

3月下旬から広く参画を呼びかけ、パートナーの皆様とのEXPO会場内外における体験や発信を通じて、グリーン社会の実現に向けたムーブメントを創り、市民や企業の皆様の行動変容を加速していきます。

【STYLE PARTNERSの取組イメージ】



《まとめ》 市民等の参加取組事例

※現時点で企画されている取組及び募集想定時期



① フィールドを活用した活動拠点(市出展)

- 会期前の花壇づくり
- 会期中のワークショップ 等

R8.4/30まで募集

今後募集

<取組例>

- ・サステナブルな花壇づくり
- ・学校ブレん土づくり 等

② 区民活動デイ

- 市民の文化活動等の成果発表
- 地産地消・区の特産品の展示・販売
- ものづくり等の体験型ワークショップ 等

今後募集

③ ボランティア

【EXPO全体】(EXPO協会と協働実施)

- 花・緑ガイド
- 植物管理
- 運営

募集済

R8.4/30まで募集

R8.4/30まで募集

【市出展】

- ツアーガイド、
フィールドづくり、
プログラム運営補助※

R8.7月募集予定

<※運営補助プログラム例>

- ・たねダンゴづくり
- ・自然と繋がるサーキュラー体験 等

④ STYLE PARTNERS

- 地球にやさしいアクションを実践する皆様の
パートナーへの参画を広く呼びかけ

R8.3月末募集予定

<取組例>

- ・共創セッション(定期開催)、新たなSTYLEの発信
- ・市出展、催事等での活動発信
- ・まちなかでのシンボリックアクションの展開 等

<その他の取組>

⑤ 市民参加(共創)プログラム(GREEN×EXPO協会協働事業)

- 環境に取り組む市民等によるワークショップや
セミナー、展示等

今後募集

⑥ 一般参加催事(GREEN×EXPO協会事業)

- 様々な団体・企業等が、主催者として催事プロ
グラムを開催

二次募集を検討

項目

- 1 横浜市出展等の検討状況について
- 2 市民等の参加の検討・取組状況について
- 3 来場者輸送の取組状況について**
- 4 GREEN×EXPO協会による取組状況について

3(1) 来場者輸送実施計画 第2版の公表

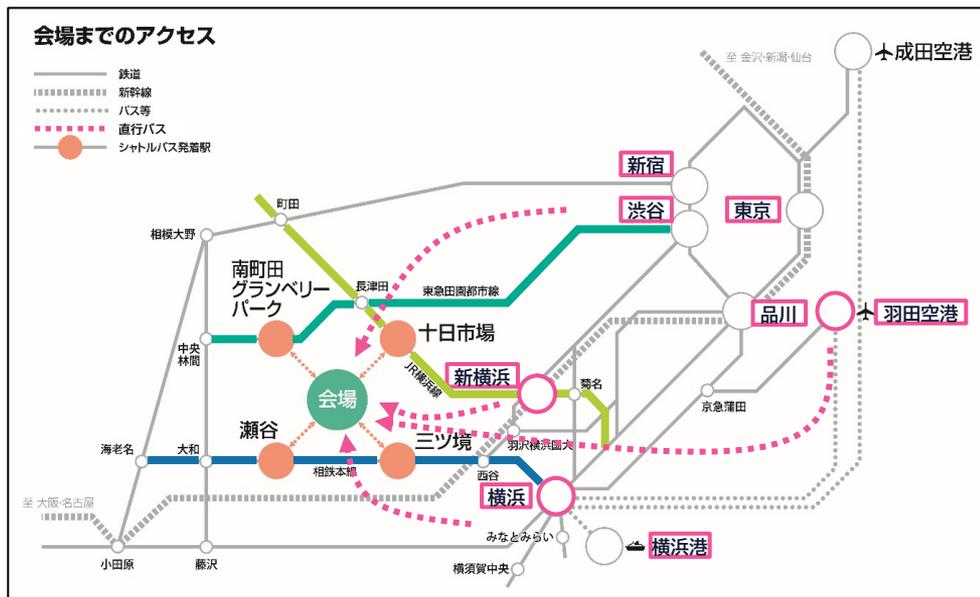
安全かつ円滑な輸送の実現に向け、GREEN×EXPO協会が「GREEN×EXPO 2027 来場者輸送実施計画 第2版」を2月27日に公表しました。

<初版からの主な更新内容>

- ① シャトルバス計画の進捗
- ② パークアンドライド駐車場などの計画の進捗
- ③ 交通需要マネジメント (TDM) の取組の進捗

① シャトルバス

- 近傍4駅からのシャトルバスに事前予約制を導入
- 横浜駅、新横浜駅、空港等からの直行バスや、本市で検討中の都心臨海部と会場を結ぶバスについて、乗降場やルートなど具体的な検討を進めるとともに、バス事業者にヒアリングを開始

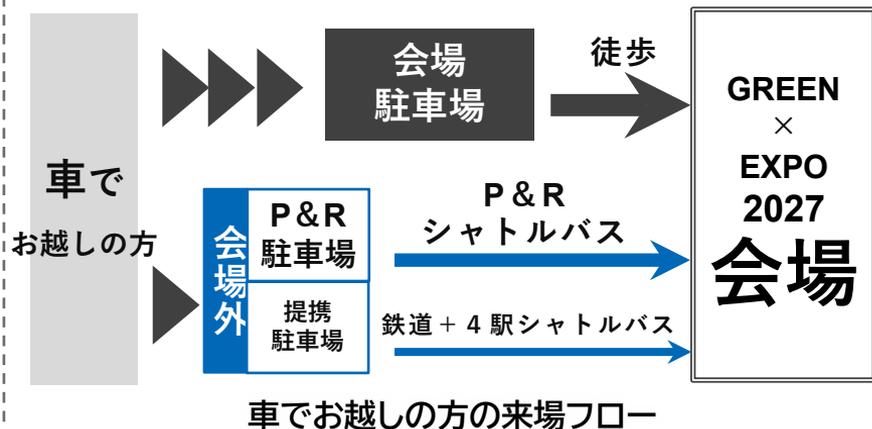


公共交通機関によるアクセス及び直行バスイメージ

3(1) 来場者輸送実施計画 第2版の公表

② パークアンドライド駐車場等

- パークアンドライド（P & R）駐車場として、大和市内の商業施設内駐車場と、相模原市内の相模大野立体駐車場の2カ所を確保し、会場までシャトルバスを運行
- 会場駐車場等が予約で一杯の場合の補完として、近傍4駅より離れた駅周辺のコインパーキングをご案内（具体の箇所は地域への影響を踏まえ今後調整）



③ 交通需要マネジメント（TDM）

第1回交通円滑化推進会議を令和7年12月23日に開催

[主な意見]

- 交通円滑化にはハードだけでなくTDMの取組が重要
- TDMを進めるにあたっては、関係者の連携強化と地元への丁寧な説明が不可欠
- 商工会議所や中小企業団体中央会としてもしっかりと協力していきたい



第1回会議の様子

3(2) 瀬谷駅から会場までの公共空間整備

令和8年2月から、瀬谷駅北口駅前広場の舗装再整備工事に着手しました。
開幕に向けて、花緑による彩りやGREEN×EXPOが感じられる装飾を行います。
さらに、日陰づくりやミスト設置など、様々な暑さ対策に取り組みます。



整備イメージ

項目

- 1 横浜市出展等の検討状況について
- 2 市民等の参加の検討・取組状況について
- 3 来場者輸送の取組状況について
- 4 **GREEN×EXPO協会による取組状況について**

4(1) 気候変動・暑熱対策

大阪・関西万博の状況を踏まえ、現在、協会と出展者、横浜市が連携し、さらなる対策を検討しています(協会にて、暑熱対策に関する協賛を募集中)。

<u>日陰空間の創出</u>	
樹木等の休憩スペース	園路や広場の樹林、日陰シェード等
常設型の休憩スペース	あずま屋・パーゴラ、トイレ併設の上屋等
施設入場時の待機列用の屋根	Village出展、テーマ営業出店、花・緑出展、政府出展、協会展示施設等
大催事広場 休憩スペースの設置	団体客用の日よけとなる上屋の設置
<u>夜間開園の全期間実施</u>	開催日の拡充(192日、9:30~21:30)
<u>避雷施設の追加設置</u>	屋外の退避可能エリアの確保
<u>ミストの設置</u>	団体休憩所など複数個所で検討中
<u>給水機等の設置</u>	給水機、自動販売機
<u>水場空間の創出</u>	噴水などの水場空間を市出展施設含む出展施設等で検討中

4(2) 国際出展

現在、参加目標国・国際機関数70程度はほぼ達成し、うち17か国と契約調印済みとなっています。

【参考：参加表明国・国際機関（公表準備が整った国・国際機関のみ） 42か国・3国際機関】

（外務省及びGREEN×EXPO協会サイト掲載情報 最近更新：令和8年2月9日）

アゼルバイジャン共和国 アメリカ合衆国 アンゴラ共和国 イエメン共和国 イタリア共和国 ウガンダ共和国
エチオピア連邦民主共和国 ガーナ共和国 カタール国 ガンビア共和国 ギニア共和国 キルギス共和国
ケニア共和国 コートジボワール共和国 コンゴ民主共和国 ザンビア共和国 シリア・アラブ共和国
ジンバブエ共和国 スーダン共和国 セルビア共和国 ソマリア連邦共和国 ソロモン諸島 タイ王国 大韓民国
タジキスタン共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 トーゴ共和国 トルクメニスタン パラオ共和国
東ティモール民主共和国 フィジー共和国 ブータン王国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マラウイ共和国
マリ共和国 モーリタニア・イスラム共和国 モザンビーク共和国 ヨルダン ルクセンブルク大公国 レソト王国
国際熱帯木材機関（ITTO）国連大学（UNU）国連人間居住計画（UN-Habitat）

4(3) 花・緑出展者 ①

花・緑出展者（298名）などが一堂に会する「第4回GREEN×EXPO 2027 花と緑の共創推進会議」（2月19日）を開催し、10者から屋外・屋内の出展内容の発表がありました。

●（仮称）石勝エクステリア （東急不動産グループ）

みどりと共に-2127-。景観10年・風景100年・風土1000年を礎に、造園技術とネイチャーベースドソリューション（NbS）による暑熱対策を行います。資源・雨水循環を取入れ、来場者に寛いでもらえる自然と共生した憩いの空間を提供します。



©2026 ISHIKATSU EXTERIOR INC.

●株式会社 サカタのタネ

1913年に横浜で創業した（株）サカタのタネは、植物の始まりといえるタネの不思議や面白さ、タネから育てる植物の魅力をお伝えします。新品種の展示などを通じて未来を提案するとともに、植物と人を繋ぐアイデアも提供します。



提供元：株式会社 サカタのタネ

●一般社団法人日本造園組合 連合会

日本造園組合連合会に加入している全国の熟練技能者の技を結集させて作庭します。メインとなる石橋アーチ橋の前方に、棚田や東屋など人々の暮らしの風景をつくり、アーチの先には、希望のある未来を感じ取れるような空間を表現します。



提供元：一般社団法人日本造園組合連合会

●株式会社 ハイポネックス ジャパン

植物の健全な生育には「根張り」が重要です。根張りの促進や花・野菜の生育を力強く支えるために肥料は欠かせない存在です。本出展では普段は目にする事のない土の中の世界に焦点を当て、植物の生育の基盤となる「根づくチカラ」を分かりやすく紹介します。

※発表は、屋外出展の内容のみ実施



提供元：株式会社 ハイポネックスジャパン

●公益財団法人日本いけばな 芸術協会

諸流合同で多様ないけばな作品を展示する他、「いけばな文化史年表」や花型に関するパネルを展示いたします。「いけばな」を通じて、自然の持つ美しさや個性、会場にあふれる花の力、作家の想いをこめたいけばな芸術の神髄をころゆくまでご高覧ください。



提供元：公益財団法人 日本いけばな芸術協会

4(3) 花・緑出展者 ②

●茨城県

「いばらきの奥深き庭を愉しむ」をコンセプトに、茨城県を代表する庭園である偕楽園の陰と陽の創建思想の世界観を盛り込むとともに、ひたち海浜公園、フラワーパークなどの花絶景を表現し、いばらきの歴史・文化や季節ごとの魅力を盛り込んだ展示です。

(画像転載不可)

●岐阜県

飛騨の合掌造りをモチーフとした茶室空間に配置する、花苗を敷き詰めた花畳や床の間の花飾り、茶庭、水の流れが自然豊かな岐阜を表現します。県産花きによる花飾りや美濃和紙を用いて、岐阜の花産業・伝統文化が香る空間を造ります。



岐阜県

●奈良県

本県マスコットキャラクターせんとかんを設置します。シルバーのせんとかんに映る自身を撮影するなど、ユニークな体験ができます。万葉植物とナラノヤエザクラ、万葉集に詠まれた朝霧をテーマとした演出等、奈良を感じられる場とします。是非、お越しく下さい。



©NARA pref.

●浜松市

浜松市は、山や海、川、湖といった自然環境に恵まれ、生物相や植物相も豊かな都市です。加えて、多様な人々と文化、産業が発達した都市でもあります。浜松市が有する自然や文化、産業の多様性を、多様な生き物が共存する美しいガーデンで表現します。



浜松市

●神戸市

近年の夏場を中心とする高温常態化への神戸市の取り組みや、森林・里山の再生とまちの緑化を柱とする「森の未来都市 神戸」の取り組みを発信します。また、伐採した街路樹の活用など、資源循環の取り組みもPRします。



神戸市

4(4) 前売り入場チケットの販売開始

開催1年前の3月19日から、GREEN×EXPO 2027 チケットサイトを通じて前売り入場チケットを販売します。

旅行代理店や各種プレイガイド等チケット販売事業者による販売も実施予定です。

また、電子チケットのほか紙チケット等もご用意する予定です（追加料金が必要）。

なお、個人版ふるさと納税の返礼品に前売り入場チケットを追加するよう調整中です。

<入場チケットの購入ステップ>



※来場日時予約は今後開始予定